

「財産開示は使いづらい制度」!?
「知る人ぞ知る一手」を伝授する、類のない一冊!

財産開示の実務と理論

勝訴を無駄にしないための三段活用

弁護士 小柳茂秀 著

2013年8月刊 A5判 484頁 本体4,800円+税 978-4-8178-4106-3 商品番号:40518 略号:財開

本書が提案する三段活用

第一段階 現行制度を活用

手続の手引

全体の流れ、詳細な手続と必要書類について、初心者でもわかるよう図解により丁寧に解説。

財産開示を有効活用するためのヒント

「開示期日における上手な質問・下手な質問」等、著者自身や情報提供者（弁護士）の実体験等を踏まえた、手続活用に役立つアイデアを紹介。

参考資料・書式

参考資料と書式41点をポイント解説とともに掲載。参考となる各国の条文も紹介。

第二段階 より実効性を高めるため、現行制度を新たな法解釈の下で運用

現行法の通論

理論に踏み込み、現行制度を最大限に活用する方法を検討。

裁判例

リーディングケースとなる裁判例7件につき、著者独自の評釈も加えながら、制度の不備と活用方法について紹介。

実例集

「財産開示の結果に基づき債権を回収した事例」「財産開示を契機に和解等により債権回収した事例」等、実務の参考となる45事例を紹介するとともに、独自の分析を加えた上で整理。



初心者に向けた目線で、具体的な手続方法を、実務を意識して解説。

第三段階 実効性を最も向上させる「改正」に向けた提言

展望～発展に向けた提言

諸外国（独・韓・米・仏）の制度と、日本の制度（立法経緯から統計資料に基づく現状分析まで）を紹介し、改正に向けて提言。